



施政方針大綱を
表明する濱田市長 (2/26)

令和7年度 施政方針

濱田剛史市長は、令和7年度の市政運営の方針や重点施策などをまとめた施政方針大綱を発表しました。今号ではその概要をお知らせします。

ID 143774

※全文は行政資料コーナー（本館1階）や市ホームページで公開しています

着実に政策の実現を追求

私は、4期目の市長就任に当たり、高槻の輝く未来を創造する3つの柱として「次世代への積極投資」「成長基盤の強化」「健全財政の堅持」を掲げ、この間、市政の発展と市民福祉の向上に全力で取り組んでまいりました。

これら3つの柱を軸に、令和7年度においても、市民の皆さんと共に育ててきた我がまち高槻をさらに成長させ、「大阪の高槻」から「日本の高槻」へと飛躍を遂げるべく、子育て・教育分野を始め、安全・安心、健康福祉・医療、文化芸術、にぎわい創出など、あらゆる分野において、さらなる施策の充実に取り組んでまいります。

また、昨年も豪雨などの自然災害が全国各地で発生しており、近い将来に起こり得る南海トラフ地震や頻発する大規模水害・土砂災害への備えを盤石なものとしてまいります。

さて、本市は長きにわたり行財政改革に取り組み、さらに、平成29年には「『みらいのための経営革新』に向けた改革方針」を策定し、財政面の充実に努めてきました。これにより、着実に未来志向のまちづくりを進めるとともに、自然災害や物価高などに直面した際には、市民生活を守るため速やかに市独自の施策を展開してきました。

この改革方針について、次世代に明るい未来を引き継いでいくための成長戦略を盛り込む改定を行いました。健全財政を堅持しつつ、市民生活の安定とサービスの充実、さらには、成長基盤強化のための将来に向けた積極的な投資を行い、「日本の高槻」への歩みを進めてまいります。

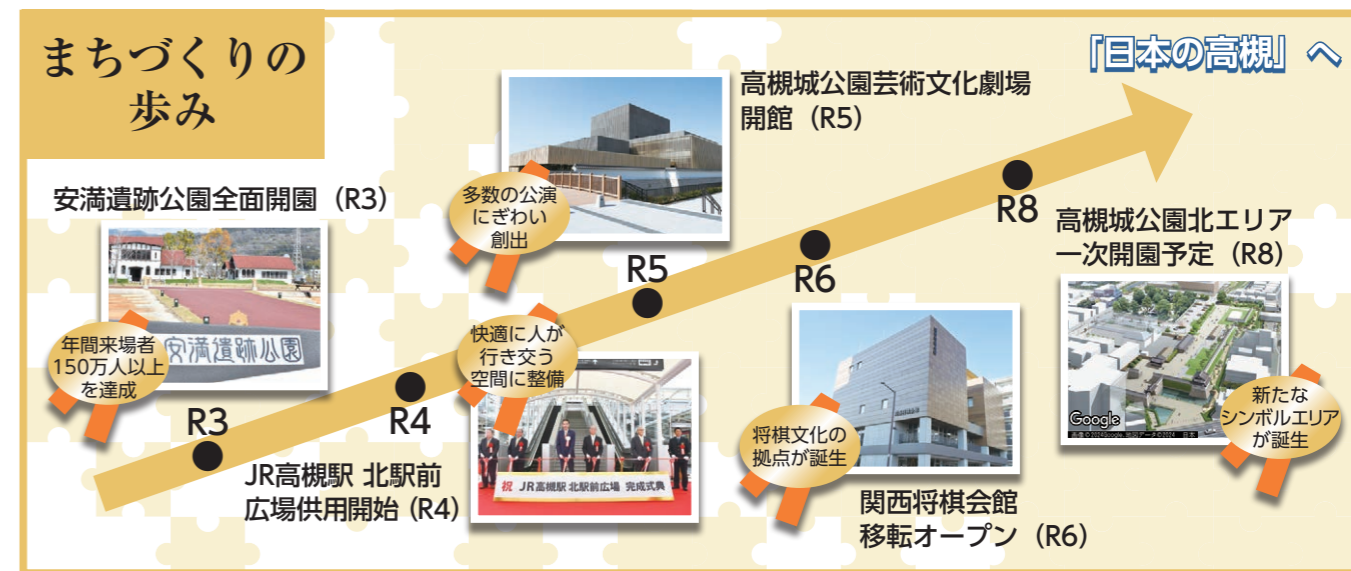
ところで、政治の世界においては、夢を語ることも時には必要かも知れません。しかし、国にせよ地方にせよ、行政機関は現実の市民生活に即した対応をしなければなりません。特に基礎自治体である市町村の行政は市民の生活に密着しているが故に、時に「待ったなし」の対応が求められます。すなわち、行政においては、掲げた政策を「実現」しなければならないのです。

ただ、すぐに「実現」できるものもあれば、「実現」するまで一定期間を要するものや、慎重に進めなければならないものもあります。「実現」することは決して簡単なことではありませんが、「実現」という「結果」は、市民の皆さんにとって、市政を評価する基準として、とても分かりやすいものです。

「千虚、一実にかかず」という言葉があります。千の嘘を並べ立てても、一つの真実には勝てないという意味の言葉です。自治体にとって「一実」とは政策を「実現」することです。私は、この言葉を胸に、近年の混沌とした政治状況の中で、翻弄されることのないよう、地道に市政に取り組み、全国的に誇れる政策を実現してきました。そして、全国トップレベルの財政健全性も「実現」しています。

まさに「大阪の高槻」から「日本の高槻」として着実に歩みを進めているところです。

今年度も、市民の皆さんのご意見に謙虚に耳を傾け、議会の皆さんと建設的な議論を交わしながら、政策の「実現」を追求すべく市政に全力で取り組んでまいります。皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



令和7年度施政方針 重点施策

新 新規施策
拡 拡充施策

市では、8つの将来都市像を実現することを目指して次の①～⑧の重点施策に取り組みます。

問合せ みらい創生室 / Tel.674-7392



1 都市機能が充実し、快適に暮らせるまち

JR高槻駅前を無電柱化・美装化

2億3,450万円

防災性の向上や快適な道路空間の確保と、景観の形成を図るため、JR高槻駅から上宮天満宮へ向かう高槻駅前線の無電柱化と美装化を推進します。



イメージ

駅前などに密閉型喫煙所を設置

1億1,872万円

阪急高槻市駅前、JR高槻駅前などの公共喫煙所を、密閉型喫煙所にリニューアルします。

その他

- ・富寿栄住宅の2期住宅棟整備と既存入居者移転を完了
- ・JR高槻駅北側で下りエスカレーター整備や歩道の美装化などを推進
- ・水道施設の強靱化（きょうじんか）と安定経営の両立のため、水道料金を改定

JR高槻駅南地区再整備に向けた取り組みを支援

815万円

同地区に求められる都市機能・都市基盤の在り方について整理・検討を行います。また、事業化検討パートナーを決定した市街地再開発準備組合による再整備に向けた取り組みを支援します。

駅周辺の公衆トイレをリニューアル

1億990万円

阪急高槻市駅前、JR高槻駅西口、JR摂津富田駅前の公衆トイレを順次バリアフリー対応トイレにリニューアルします。

- ・「市営バス経営戦略」を改定
- ・木造住宅の耐震改修補助額を増額、民間建築物の耐震化を促進
- ・「総合交通戦略」を改定、
新 樫田地域でデマンド交通の実証運行を実施

2 安全で安心して暮らせるまち

貯水機能付給水管の設置を推進

1,755万円

災害時の飲料水の確保などにつなげるため、新たに貯水機能付給水管を水道部庁舎敷地内に設置します。



その他

- ・消防団員を確保、多機能型消防団等訓練施設を活用
- ・「市民避難訓練」を市内南西地区で実施
- ・新 島本町との消防指令事務の共同運用を開始

（仮称）危機管理センターを整備

3億9,317万円

災害時は災害対策の中核拠点として、平常時には防災の普及啓発、研修などに活用する（仮称）危機管理センターを、令和7年度中に整備します。

特殊詐欺被害対策を推進

1,022万円

詐欺電話対策機器の無料貸出数を増やすなど、効果的な活動に取り組みます。

3 子育て・教育の環境が整ったまち

子どもの医療費を完全無償化

府内初

20億4,534万円

子育て中の保護者の経済的な負担軽減を図るため、4月診療分から、府内初となる自己負担額の完全無償化を実施します。



イメージ

幼児健康診査フッ化物塗布を追加

1,391万円

幼少時からの歯科疾患の発症予防のため、1歳6カ月児健診および2歳6カ月児歯科健診時において、フッ化物の塗布を新たに開始します。

学校水泳授業における民間活用を試行

782万円

児童の泳力および体力のさらなる向上と天候・気温に左右されない授業環境を確保するため、新たに民間事業者を活用した水泳授業を試行します。

その他

- ・「見守り付き校庭開放」実施校を小学校20校に拡大
- ・インフルエンザ予防接種費用助成の対象を中学3年生まで拡大
- ・全中学校区でコミュニティ・スクールの導入を完了
- ・全小中学校に体育館空調設備の設置を完了
- ・中学校部活動の一部種目で、試行的に休日の活動を地域クラブへ移行

4 健やかに暮らし、ともに支え合うまち

「健康医療先進都市」を推進

大阪医科薬科大学、医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに設置した「『健康医療先進都市たかつき』推進連携会議」において、健康課題の解決に向けた検討などを行います。



連携協定調印式の様子

がん対策 成人ピロリ菌検査の対象を拡大

8億7,422万円

がんの早期発見・早期治療に向け、引き続き各種検診を無料で実施。また、全世代型の総合的な胃がん対策を実現するため、成人ピロリ菌検査を20代にも拡大します（詳しくは本誌34ページ）。



イメージ

その他

- ・マイナ保険証への移行に伴う問い合わせ対応のため、24時間対応可能な電話音声自動応答サービスを導入
- ・「（仮称）地域共生ステーション」を整備
- ・グラウンド・ゴルフ場を整備
- ・災害時要援護者の支援を充実（ICTを活用した安否確認システムを導入）
- ・人工内耳専用電池と充電器の購入費用の補助を成人にも拡大（詳しくは本誌42ページ）

5 魅力にあふれ、にぎわいと活力のあるまち

高槻城公園北エリア 城下町らしい歴史空間に整備

7億208万円

高槻城公園北エリアの一次開園に向け、市民会館跡地にかつての高槻城を構成した土塁や土塀などを再現するほか、姉妹都市交流センター跡地に城下町のランドマークであった火見櫓（ひのみやぐら）などを整備します。また、民間店舗の誘致に向けた取り組みを進めます（詳しくは本誌16ページ）。



〔拡〕 農作物被害へ対策を強化

575万円

有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、地域が取り組む被害防除施設の整備への支援を拡大します。また、市内の水田に生息するジャンボタニシによる被害対策に、JAたかつきと連携して取り組みます。

プレミアム付商品券（第7弾）を発行

20億7,662万円（令和6年度12月補正予算で計上）

地域の活性化と市民の家計支援を行うため、市独自の第7弾プレミアム付商品券を発行します。

その他

- ・定住促進アンバサダーと新キャッチコピー「Living with」を活用したプロモーションを展開
- ・「BOTTOたかつき」の取り組みを推進
- ・中小企業などによる将棋関連の新商品創出や販路開拓を支援（詳しくは本誌21ページ）
- ・高槻版デジタル地域通貨の発行を検討

- ・「（仮称）将棋のまちづくり推進プラン」を策定し、駅周辺のにぎわいを創出
- ・観光協会や商工会議所などと連携し、「オープンたかつき」を実施
- ・青少年キャンプ場や芥川城跡も含めた摂津峡公園の再整備を検討

6 良好な環境が形成されるまち

市民・事業者による 省エネルギー設備などの導入を支援

2,060万円

温室効果ガス排出量削減のため、エコハウス補助金などにより、市民・事業者による省エネルギー設備などの導入を支援します。



エネルギーセンター 第二工場を長寿命化

13億267万円

市民生活に不可欠な施設として安定的なごみ処理を行うため、老朽化した第二工場の長寿命化を目的とした改修工事を実施します。



その他

- ・市有施設などをクーリングシェルターに指定
- ・「エコ&グリーンフェスタ」を開催、「たかつき市民環境大学」を開講

7 地域に元気があって市民生活が充実したまち

高槻城公園芸術文化劇場などで 多彩な文化事業を展開

5億5,275万円

文化芸術の創造・発信拠点として、公演やイベントなど多彩な文化事業を展開し、市内外へ発信します。また、「NHKのど自慢」や新たに中学生を招待する文化芸術鑑賞会を開催します。



将棋文化を振興

7,660万円

タイトル戦の誘致や将棋まつりの開催などに取り組みます。また、引き続き新入学児童全員への高槻産木材を使用した駒配布などで将棋文化の裾野拡大を図ります（詳しくは本誌21ページ）。



その他

- ・コミュニティ市民会議や各地区コミュニティのまちづくり活動・防災活動を支援
- ・〔拡〕合葬式墓地の増設に向けた設計を実施
- ・「第2期スポーツ推進計画」に基づく取り組みを推進
- ・配偶者暴力等相談員によるDV相談・女性相談を実施

8 効果的・効率的な行財政運営が行われているまち

ふるさと寄附金の増加を目指し取り組みを推進

4億5万円

魅力ある返礼品の導入、戦略的プロモーションの展開により新規寄附者およびリピーターの獲得を図るほか、企業版ふるさと納税のPRに取り組みます。



その他

- ・自治体DXを推進（窓口業務改善などの取り組みを推進）
- ・「デジタル市役所」の実現に向け行政手続きのオンライン化を推進
- ・公共建築物の効率的かつ合理的な管理を実施

「『みらいのための経営革新』に向けた改革方針」の改定

143673

将来も健全な市政運営を続けるために

健全な市政運営を続けるために、平成29年に策定した「『みらいのための経営革新』に向けた改革方針」。5年間に取り組んだ3つの行財政改革で、約90億円の成果を実現しました。

取り組んできた3つの行財政改革



行財政改革だけでなく、小中学校給食費の無償化などの子育て支援施策の拡充のほか、安満遺跡公園や芸術文化劇場の整備など、未来志向の魅力あるまちづくりを着実に実現し、成果を上げてきました。

成長戦略を加え、改革方針を改定

これまでの取り組みを継続・発展させ、輝く未来を創造するために、令和7年2月に「みらいのための改革方針」へと改定。下記の「成長戦略」を盛り込み、より一層、未来志向の魅力あるまちづくりを推進していきます。

行財政改革に加わる成長戦略

- 1 風格と魅力ある都市の形成
- 2 子育て・教育施策への積極的な投資
- 3 交流人口・定住人口増加に向けた取り組みの推進